



建交労



2019年12月10日
 建交労神奈川県南支部
 2019年秋季年末闘争
 2019年度推進ニュース⑥通算165号
 発行責任者 佐藤 章

憲法9条改悪を許さない12.8行動！ 平和と民主主義を守る川崎市民集会

川崎市の「平和と民主主義を守る市民の会」は、日本が78年前（1941年）にハワイ真珠湾への奇襲攻撃を強行して太平洋戦争に突入していった12月8日を忘れないため川崎区の稲毛公園で「戦争への道をストップさせ、憲法9条を守る」ための集会とパレードを行って市民に平和と民主主義を守ることの大切さをアピールしました。神奈川県南支部からは佐藤委員長、大島書記長らが参加しました。

かつて日本政府・軍部は、ドイツ、イタリアとともに第二次世界大戦を引き起こし、日本は

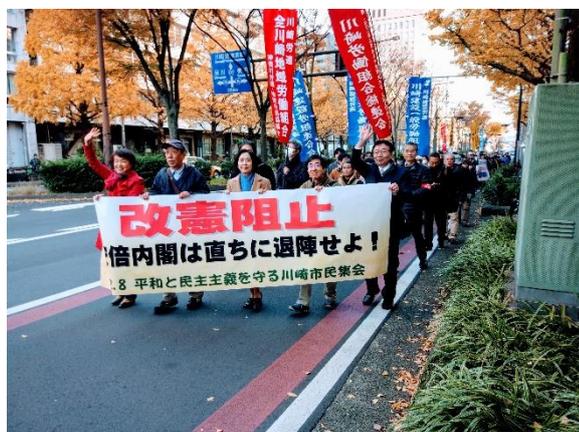


市民集会に参加した神奈川県南支部の佐藤委員長

アジア諸国民に甚大な悲劇をもたらすとともに日本国民にもはかり知れない犠牲を強いました。日本国民は、その痛苦の歴史を踏まえて二度と戦争は行わない、武器も持たないと誓って日本国憲法（平和憲法）を制定しました。

その後日本は戦後75年の長きにわたって他国との戦争行為に及ぶことなく世界に誇る尊い平和の歴史を築いてきました。それを可能にしてきた大きな力は、平和を願う日本国民の強い思いと、その国民の思いを支え続けてきた9条を抱く平和憲法にあります。

しかし、平和憲法を嫌う安倍政権は、憲法9条の効力を消滅させることに執念を燃やし、日本を再び「海外で戦争ができる国」にするために集团的自衛権の行使容認や安保法制・秘密保護法などの違憲立法を強行成立させ、いまは緊張が高まる中東海域への自衛隊派遣の準備をすすめています。また、安倍政権は「海外で戦争する国づくり」とともに、森友学園や加計学園につづき「桜を見る会」でも権力を私物化して民主主義を蹂躪する独裁政治を強めています。こんな政権に憲法を変える資格はありません。



平和と民主主義を訴えてパレードする集会参加者

建交労神奈川県南支部は、憲法9条を守り戦後75年間続けてきた「戦争しない国」を未来につなげるために、地域の仲間とともに平和と民主主義を守る運動に結集していきます。